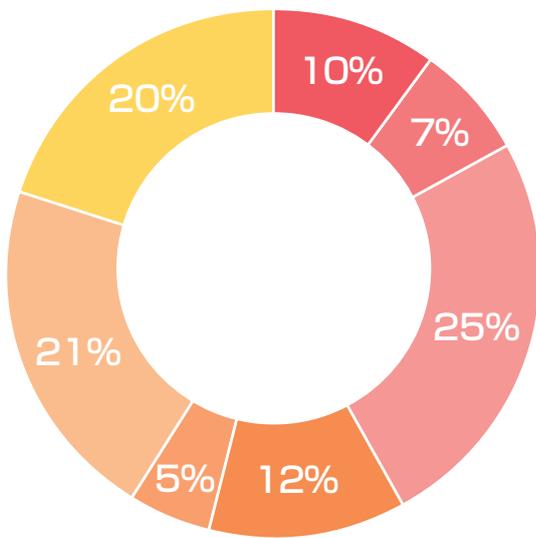


2023年度中間期
事業本部別営業純益*1 **10,779**億円*2



■ デジタルサービス事業本部	1,160億円
■ 法人・リテール事業本部	880億円
■ コーポレートバンキング事業本部	2,944億円
■ グローバルコマーシャルバンキング事業本部	1,360億円
■ 受託財産事業本部	600億円
■ グローバルCIB事業本部	2,443億円
■ 市場事業本部	2,318億円

注記 *1 管理計数。決算レートで算出
*2 本部・その他の計数を含む

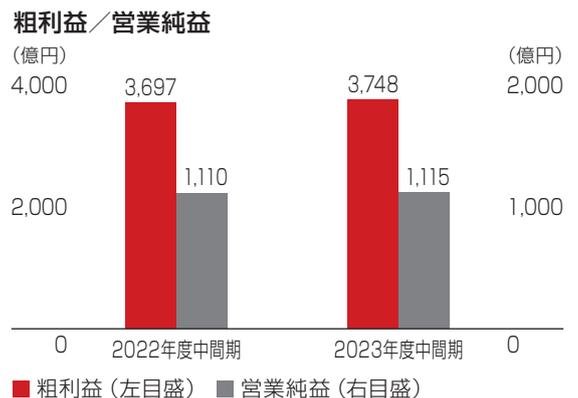
デジタルサービス事業本部

国内の個人・法人の非対面取引を中心とするお客さまを対象に、デジタルでの取引接点の拡大や利便性向上を通じたデジタル金融サービスを提供するとともに、全社のデジタルトランスフォーメーションを推進し、ビジネス基盤を強靱化します。

2023年度中間期の業績*1

コロナ禍からの経済回復により、コンシューマーファイナンスの残高やカード決済の取扱高が増加したことに加え、金利上昇に伴う外貨預金収益の増加等により粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース



法人・リテール事業本部

国内の個人や法人のお客さまを対象に、貸出、資金決済、資産運用や相続・不動産など幅広い金融サービスの提供、事業・資産承継といったソリューション提供などを通じて、多様なニーズにグループ一体でお応えしています。

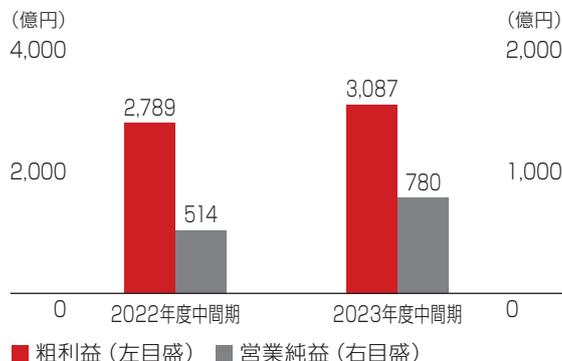
2023年度中間期の業績^{*1}

利ざや改善や法人向け貸出の残高増加、LBO^{*2}を中心としたソリューションの案件積上げ等により資金収益や手数料収益が増加しました。また、市況回復に伴い資産運用収益も増加し、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

*2 Leveraged Buyout

粗利益／営業純益



コーポレートバンキング事業本部

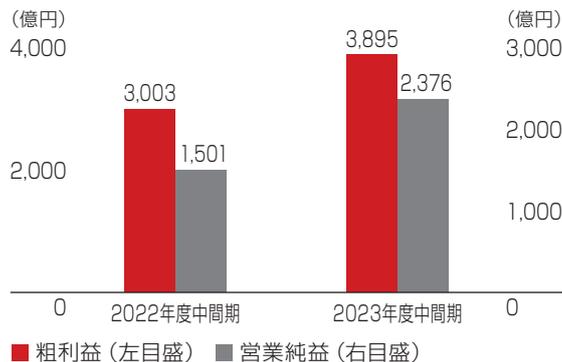
日系大企業のお客さまを対象に、貸出や資金決済、外国為替などのサービスや、M&Aや不動産関連ビジネスなどグループ各社の専門性を活かした総合的なソリューション提供を通じて、お客さまの企業価値向上に貢献しています。

2023年度中間期の業績^{*1}

海外の金利上昇や貸出利ざやの改善による国内外預貸金収益の増加や、リスクテイクやグループ一体運営のさらなる強化によって非資金収益も拡大し、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



グローバルコマースシャルバンキング事業本部

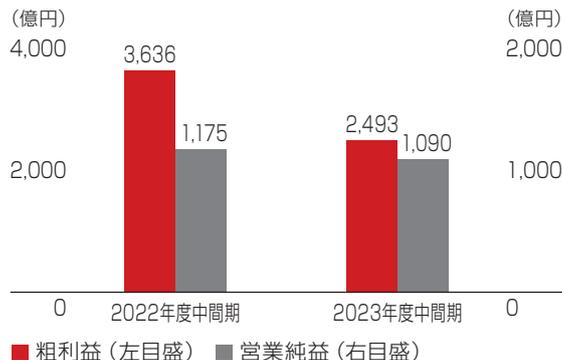
パートナーバンク(クルンシィ(アユタヤ銀行)、ダナモン銀行、ヴィエティンバンク、セキュリティバンク)を通じて、アジア進出企業や地場企業、個人のお客さま向けに金融サービスを提供しています。

2023年度中間期の業績^{*1}

クルンシィ、ダナモン銀行における貸出残高の積上げに加え、政策金利上昇や利ざや改善により金利収益等が増加しましたが、米国MUBFGユニオンバンク(以下、MUB)株式譲渡の影響で、粗利益、営業純益ともに前年同期比で減少となりました。なお、MUB株式譲渡の影響除きでは、増収・増益となっています。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



受託財産事業本部

資産運用（AM^{*1}）、資産管理（IS^{*2}）、年金の各事業において、高度かつ専門的なノウハウを活用したコンサルティングや、運用力と商品開発力の向上に取り組み、国内外のお客さまの多様なニーズにお応えしています。

*1 Asset Management

*2 Investor Services

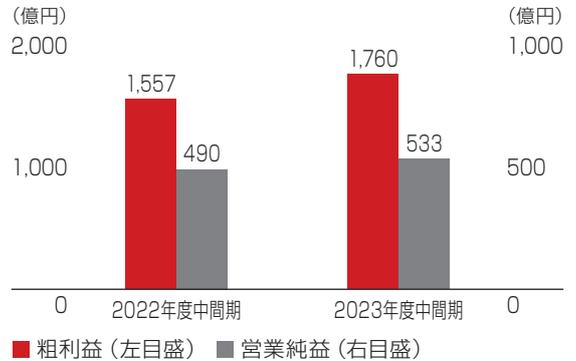
2023年度中間期の業績^{*3}

AMでは海外運用子会社の成功報酬受領等により増益となりました。またISでは国内外における複合的なサービス提供や米国金利上昇による資金収益の増加等、年金ではDC^{*4}での投資信託への資金流入等により各事業とも増益となり、粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*3 管理計数。現地通貨ベース

*4 確定拠出年金

粗利益／営業純益



グローバルCIB事業本部

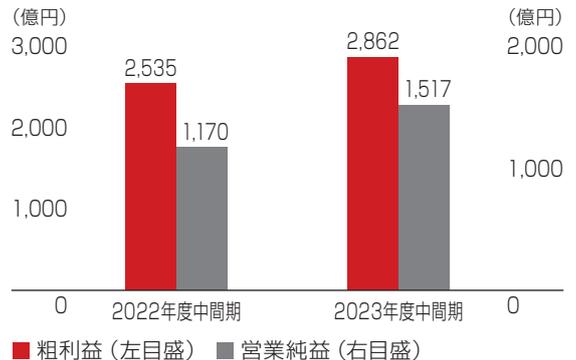
グローバル大企業のお客さまを対象に、商業銀行機能と証券機能を中核にグループ一体で付加価値の高いソリューションを提供するコーポレート&インベストメント・バンキング（CIB）ビジネスを展開しています。

2023年度中間期の業績^{*1}

プロジェクトファイナンス等を中心とした貸出関連収益、キャピタルマーケットの復調による手数料収益の増加に加え、利ざや改善による預貸金収益の増加等により粗利益、営業純益ともに前年同期比で増加しました。

*1 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



市場事業本部

金利（債券）・為替・株式のセールス&トレーディング業務^{*1}を中心とする顧客向けビジネスと、MUFGの資産・負債や各種リスクを総合的に運営管理するトレジャリー業務^{*2}を主に担っています。

*1 為替・デリバティブなどの金融商品・ソリューションをお客さまに提供するセールス業務と、銀行間取引や取引所などで市場性商品の売買を行うトレーディング業務の総称

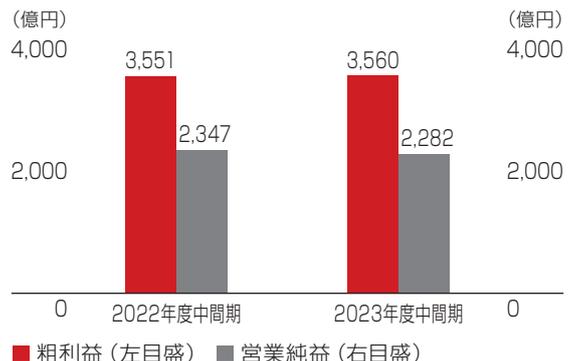
*2 貸出などの資産と預金などの負債に内在する資金流動性リスクや金利リスクなどを総合的に管理するALM運営やグローバル投資など

2023年度中間期の業績^{*3}

トレジャリー業務での債券売却益の計上や、顧客向けビジネスでの為替・デリバティブ等の各種のフロー取引の獲得によって、粗利益は前年同期比で増加しましたが、インフレや為替影響等による経費の増加に伴い、営業純益は前年同期比で減少しました。

*3 管理計数。現地通貨ベース

粗利益／営業純益



中小企業のお客さまの成長・地域活性化への貢献

MUFGは、中小企業のお客さまの経営課題の解決に資するサービスの提供や地域活性化に向けた支援を通じて、日本経済の発展に金融面から貢献していきます。

中小企業のお客さまの成長への貢献

MUFGは、企業のビジネスステージ（成長段階）に応じて、さまざまなサービスを行っています。

創業期

■ ビジネスをスタートする経営者の皆さまをサポート

創業からの事業開始をサポートするため、法人口座は完全非対面・来店レスで全国の口座開設が可能となっており、毎年約1万社の中小企業のお客さまにご利用いただいております。

Rise Up Festaは、新規性・独創性を有する事業や既存の事業領域を超えて新たな事業に取り組むベンチャー企業を対象に、MUFGのネットワークや経営支援などのノウハウを最大限活かし、中長期的なサポートを提供していくプログラムです。第10回となる2023年度は、最優秀企業4社、優秀企業4社を選定し、プログラム終了後も継続的に支援しています。



第10回 Rise Up Festa

成長期

■ お客さまのパートナーとして企業の成長を支える対面・非対面サービス

運転資金・設備資金やIPO等の資金支援や事業への助言等の対面サービスと、デジタル等を駆使したスピーディーな資金支援や経営課題解決に資するソリューション提供等の非対面サービスの両面から、企業成長を支援しています。幅広いサービスと、積み上げられた信頼・信用から、最も多くのお客さまにメインバンクとして選ばれています^{*1}。

Biz LENDINGは、中小企業のお客さまの資金ニーズに早期にお応えするオンライン完結の融資サービスです。従来の決算書による審査ではなく、入出金データ等をAIが審査し、お申込から最短2営業日で、無担保・無保証でのお借入が可能です。

このほか、株式会社マネーフォワードとMUFGの合併企業である株式会社Biz Forwardでは、請求代行サービス「SEIKYU+」とオンラインファクタリング「SHIKIN+」をリリースしています。累計残高は100億円^{*2}を突破し今後も資金繰り改善や請求業務のデジタル化・効率化にお応えします。

三菱UFJ銀行は、「ビジクル^{*3}」を通じて、法人のお客さまが抱えるDXやESG等の経営課題を解決する最適なソリューションを提供しています。また、2023年4月より三菱UFJ銀行の法人向けオンラインポータル「MUFG Biz」上でも、同サービスをご利用いただけるようになりました。

*1 東京商工リサーチ 2023年「企業のメインバンク」調査 *2 2023年9月末時点

*3 企業が抱えるDX・ESG等の経営課題に対して、提携する約400個のソリューションの中から最適なお提案を行う経営課題解決型プラットフォーム

成熟期

■ 円滑な事業承継に向けたサポート

多くの中堅中小企業オーナーが抱える資産・事業承継の課題に対し、グループの機能と提携先ネットワークを活用しながらM&Aや相続、不動産、資産運用に関するご提案をグループ一体で行っています。

■ 資金繰り支援

三菱UFJ銀行では、お客さまへの円滑な資金供給を最も重要な社会的役割の一つと位置付けており、物価高騰等の経済環境変化に伴う影響を踏まえたお客さまの資金繰りに対して、丁寧・迅速・柔軟な支援に取り組んでいます。

事業再生

環境変化への対応が求められる中、専門部署のノウハウを活用し、お客さまに寄り添いながら、さまざまなサポートを行っています。

加えて、DIPファイナンス^{*4}や、投資専門子会社による資本性支援等の踏み込んだサポートも強化していきます。

*4 再生債務者に対して融資を実行すること

地域経済の活性化への貢献

MUFGは、地域経済の活性化や地域産業の育成につながる事業を支援しています。

■ 株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメントとパートナーシップ契約を締結

三菱UFJ銀行は、金融とスポーツを掛け合わせた事業共創をめざして株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント(以下、ファイターズ)とパートナーシップ契約を締結しました。

ファイターズは、2023年3月に開業した新球場「ES CON FIELD HOKKAIDO」(以下、エスコンフィールド)を核にした「HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE」(以下、Fビレッジ)の開発・事業運営を行う企業です。エスコンフィールドを中核に、宿泊施設や商空間、農業学習施設、認定こども園、レジデンスなどを設けた持続可能な街づくりを進めています。

三菱UFJ銀行の幅広いネットワークや総合金融サービスの知見・ノウハウの提供などにより、Fビレッジの事業価値向上をめざします。また、本件を契機とした北海道全体の活性化に向けMUFG一体となったソリューション提供を加速していきます。

■ MUIC Kansai

MUFGでは、観光産業の課題解決および関西経済活性化をめざす取り組みとして、2021年2月に会員制イノベーション創出拠点「MUIC Kansai」を大阪に開設しました。

MUIC Kansaiでは、産業・地域課題を起点に新規事業創出に向けた実証実験を展開しています。創業2年半で70件を超えるユニークな新規事業が起案され、関西地域や観光業界でも注目が集まっています。

MUIC Kansaiは、2025年大阪・関西万博を盛り上げるイベントも行っています。2023年10月には、大阪・関西万博555日前を記念するイベントを開催しました。また、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマにした本万博において、三菱UFJ銀行と共に地元自治体パビリオン「大阪ヘルスケアパビリオン」に参画します。



©H.N.F.
HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE
全体図



カウントダウンクロックと万博公認キャラクター「ミャクミャク」